

チェック
check

最近のニュース等からマンション管理に関する情報をご紹介します

マンション管理 最近の動向

マンション管理士 飯田太郎

学生マンション併設で街を活性化

神田淡路町の再開発ビルが竣工

神田淡路町で若者を街に呼び込むコミュニティづくりの実験がはじまります。淡路小学校跡地などに建設される再開発ビルの一部を学生マンションとし、地域活動への参加を条件に、相場と比べて2～3割安い家賃で入居することができます。入居する学生は防災訓練への参加が必須で、祭り、運動会、年末の「火の用心」の夜警の一つを選択します。このほかフリーペーパー発行、美化活動、広場のイベントなどに参加、ポイント制で評価する活動実績がマンションに住み続けるための条件になります。

約70人の希望者の中から選ばれた入居者36人の

志望動機として多いのが「神田祭りのみこしを担ぎたい」こと。神田淡路町は明治8年に開校した小学校も移転・統合せざるをえないほど人口が急減。1985年に900人以上いた住民は2013年には約450人に半減して、みこしの担ぎ手を集めるのに苦慮してきました。学生の住民が増えることで、地域の元気が戻ってくると関係者は期待しています。4月19日、20日に竣工イベントとして、NPO法人神田学会主催『ようこそ神田へ新旧住民と在勤者の絆を求めて』というイベントがおこなわれます。

※イベントの詳細は以下に掲載されています。

<http://www.kandagakkai.org/oshirase/oshirase.php?id=000466>

5割が耐震診断を実施

特定緊急輸送道路沿道のマンション

東京都によると、『特定緊急輸送道路沿道』に立地する旧耐震基準の分譲マンションにおける耐震診断の実施率が約5割に達しました。

平成23年4月に施行された『特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化推進条例』により、沿道に立地する旧耐震の建築物は平成27年3月までに、診断費用の全額を都が負担して、耐震診断を実施することが義務づけられています。対象となる建築物約5,000棟のうち、分譲マンションは約700棟ですが、このうち約5割が耐震診断を実施中または

実施済みだといいます。この中で耐震性能が不十分と判定されたものは8割程度あるようです。

東京都は間もなく迎える総会シーズンに合わせ、耐震診断の実施にむけて管理組合への周知活動に力を入れていく方針です。



飯田太郎 (いいだ・たろう)
マンション管理士
(株)TALO都市企画代表

老朽化マンションの再生や地域コミュニティ等についてコンサルティングを行っているマンション管理に関する講演、著書多数